

ひろば大代

NO.423

大代まちづくり
センター

H26.10.23

みつまたに

携わって18年間

柿田 藤井房子



34年間の公職を退き、すぐ農業改良普及部センターの「あんぶれらネットワーク」の一員として「こてえ技能者全国大会」が大田市で開催され百人分の昼食を提供した思いもあります。

お茶の水教授の小松先生の講演を拝聴して、幼少の頃「みつまた」が岸に植えられていて紙の原料として育ち、長い期間に黄色い花が見えていたが、これで地域起こしは出来ないだろうかと感想文を投稿しました。その頃は昭和40年からの減反政策で農地が荒れ始めたことも気にかかっているが、とも書きました。直後、センターから5人来られて、その思いを実現してはとおっしゃいました。しかし「みつま

た」栽培についての知識はお互いに無いです。しかし研究するからとも言われ、町民の方々にその想いを配布することになりました。

そして12月5日多数の町民が集まり、その場で29名の会員で即会結成となり、名前は「一万円札の会」と決まりました。苗木注文は五千五百本もありました。言いだしっぺの私がまとめ役をさせてもらう事になりました。

その後、すべて自費で年2回、他地域への研修会など行いました。まもなく、昔にみつまたの関係者だった河野さん宅を工場に提供していただきました。内装や工事のほうも幸い会員の中に電気・大工・左官・土建の方がおられ、手間賃無しで協力下さり、大釜ももらって蒸しも出来るようになり、「一万円札の会」の工場が出来ました。

2年目でしたが、NHK松江放送局が大代へ取材に来られ、全国へ(1分)、西日本(3分)の放映が行われました。

この事が新聞に報じられ、中四国地区から多くの人が訪問研修に来町されました。また中四国JA女性部発表会や中国五県でも「みつまた」について

発表をさせてもらいました。

平成11年1月には、みつまたの原木出荷も出来るようになり、大型トラック1台、軽トラック3台で大東町へ出荷しました。毎年冬に行われる匹見町での印刷局の表彰式に3名が出席する雪の道が思い出となっています。印刷局からの功労者の受賞も原田一徳・渡利はるみ・向井秀人・藤井房子とありました。

大蔵省最後の年には、霞ヶ関発表会には普及部員と授賞式にも出席し、来賓に挨拶する毎に「あつ、一万円札の藤井さんだね」と、さも知人の如く返答され驚いたことです。会名が珍しいからでした。

また地元旧大代小学校では6年生になったら自分の卒業証書の紙すきをして、帰宅した児童に、「見せて言ったら仏壇に供えてから」と言われたと家族の方の思いもあります。そして第三中学校生徒や三瓶こだま学園生の紙すき体験や、毎年行われる直木賞受賞者の湯里町出身の難波氏が渡される証書も作成させてもらっています。

新しく会長には16年間蒸し作業を、

3時の早朝からして下さっていた向井秀人氏が快く引き受けて下さり、昨年から向井氏・花田氏・渡利氏・森氏を中心に今後の発展の可能性も深まり、動けなくなった私も安心して退任させてもらいます。今後は会員として生かさせて頂けることに感謝しています。そして夢だった黄色い花で大代を埋めることを全町民の方にお願いしながら終わりと致します。

サツキ文字の手入れについて

上飯谷 原田守男

昔からのことわざに光陰矢の如しと言いますが、長い冬が過ぎ、春が来て、桜が咲き、四季折々色とりどりの草花が人びとの目を楽しませてくれましたが、あと三カ月で一年が暮れようとしています。

ところで皆さんは県道バイパス完成記念に、高山そば道場前の法面に「大代」という文字がサツキで植えてあるのをお忘れでしょうか？あまり手入れをしてないのか、花が咲いたのを見たことがありますか？一度でよいからサツキの花が満開に咲き「大代」

という文字がはつきり、くつきりと見えたらさぞかし綺麗だろうとの思いでエンジントリマーを買い、手入れの仕方を入りに聞いて本を買い、参考にして草刈りをしました。

今年六月末には二人で一回目の剪定をして、また九月中旬から一週間かけて二回目の草刈や、剪定をしました。来年の六月頃には満開のサツキ文字が見られるかと期待と不安とに胸を膨らませております。どうか成功しますようにと祈りつつ……。来年に続く。



|| シリーズ⑥ ||

神楽への想い

この作文は昨年の夏休みに子供達が書いてくれたものです。学年は現在の学年です。

神楽

高山小5年 佐々木翔大

ぼくは、保育園の時に神楽を始めました。毎週金曜日と土曜日の夜に練習をしています。今までに、いろいろな舞いをおしえてもらいました。おもに、鬼を舞います。今は塵輪の練習をしています。四人であわせるところがとてもむずかしいです。本番の時は、いしようにも重いし、お面も付けるので、練習のようにはできない時があります。失敗した時はもう一回ちよう戦したいです。

舞っている時は、太この音を聞いていっしょうけんめいに舞います。うまくできた時はとてもうれいす。これからも、いっぱい練習をして、こわい鬼が舞えるようにがんばりたいです。そして、ほかの舞いも覚えたいです。

大蛇について

三中二年 佐々木龍聖

僕は、小学校五年生から神楽を始めました。最近、大蛇を練習しています。前から、やってみたくて思っていたので、蛇胴をつけた時は感動しました。しかし、実際に動いてみると思う様に操れず、ものすごく疲れました。大人の人に形づくりを手伝ってもらいながら悪戦苦闘しているうちに何故か本番が決まってしまう、啞然としました。本番前は緊張で顔が真っ青になりました。蛇頭をつけただけで顔から汗が出ました。観客の拍手は、全く聞こえません。大人の人の指示を頼りに必死でやりました。終わった後も、手が震えます。

僕は神楽で大蛇をやってチームワークの大切さを学びました。ベテランの人に混じって足を引っぱっています。大人の人は、とても親切です。石見神楽といえば大蛇は必須なので、伝統ある大江高山神楽社中の一員として、余裕を持って、技を披露できる様に練習していきたいと思えます。

「大代町の歴史」 発刊にあたって

大代高山会 佐藤哲朗

平成25年6月9日関西高山会総会において石見銀山資料館 館長 仲野義文先生の「大代町の歴史」について講演会が行われました。

資料を基にスライドを交えて大家の荘の成立や大家氏と小笠原氏との領地争い等、栄華を極めていた大家の歴史や、石見銀山との関わりについてお話いただき、大好評を得ました。総会に参加された東京石見高山会・大代高山会の皆さんの要望により、昨年11月10日には東京石見高山会総会で仲野館長に、今年3月



2日の婦人会総会では藤原学芸員にお話をいただきました。

由緒ある大

代町の歴史を次世代へ継承するとともに、ふるさと愛への意識醸成を図る目的で「大田市協働によるまちづくり推

進事業交付金」を活用して、講演会の資料を基に大代まちづくりセンターに残っていた諸先輩が研究された資料を石見銀山資料館に持ち込み「大代町の歴史」の編纂を依頼し、ここに発刊する運びとなりました。

大家の盆踊りの口説きは、第9章の「石見大家城主記」から引用されたものと興味深く感じられました。各家庭に於いて保存版とし、後世に伝えて頂ければと願います。

俳句

あすなる句会

柿田 横手いちえ

新米と 書いて子供に 送るたり

秋の雨 少し朝寝の 独りかな

八反田 森 信子

今日ありて 明日ある命か 栗の飯

高齢を 光齢と聞く 敬老会

椿 花田時子

爽やかや 誘い合はせて バスの旅

どんぐりを ことに喜ぶ 都会の子

下市 今田文字

天高し 農作業等 捗りて

新米を 子供に送りて 農終ふ

川上 岩田律枝

新米の 香り頂く 朝餉かな
秋の雨 静かに続く 里に住む

椿 柿丸寿枝
風を呼び ほどよく揺れる 秋桜
気温差に 崩す体調 秋の雨

〓 今月のトピックス 〓

◎ 大江高山登山道整備

去る十月十日（金）大田市環境政策課四名、地元有志九名で草刈りが行われ、今年の夏の雨量にも関係があるのか、背丈ほどの草が生えていました。それらをきれいに刈って、秋の登山シーズンに備えました。



お疲れさまでした。

◎ 町民運動会

台風十九号の影響が考慮された今回の町民運動会は旧大代小学校の体育館にて開催されました。白組横明さんが「猿にも負けず、猪にも負けず、台風にも負けず、結婚するニヤケた畑体協会長にも負けず・・」とユニークな選手宣誓で始めました。それぞれ白熱した戦いが繰り広げられました。最後の挨拶で日向寿会長が「残念なのは先日我々がきれいに草取整備をした校庭を見てほしかった」と締め括り終了しました。



優勝は水色チームでした。
おめでとうございます！！

◎ 直売所イベント

「お餅を下さい。」たくさんのお客様があり、秋祭り前で大盛況でした。



11月行事予定

- ▼ 9日（日）福祉弁当
- ▼ 9日（日）東京石見高山会総会
- ▼ 16日（日）大代町文化祭
- ▼ 18日（火）大腸がん検診（容器配布）
- ▼ 20日（木）さくらんぼ教室
- ▼ 23日（日）連合自治会
- ▼ 26日（水）パソコン教室
- ▼ 27日（木）パソコン教室